

A5252

国鉄 スハ44系客車
特急「はつかり」8両セット

予価:15,400円(税別)

JANコード:129395 カート内人数:12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入)							
実車	1958昭和33年に東北本線に初めて特急列車「はつかり」が登場しました。8両編成のスハ44系は青15号を基調としてクリーム1号の帯を本車体下部に巻いたスタイルで活躍を始めました。「はつかり」は常磐線経由で運転され、上野～仙台間はC62 仙台～青森はC6が牽引しました。また、急勾配の連続する盛岡～青森間ではC60が補機として連結され、C61との重連は迫力ある姿で多くのファンを魅了しました。また、スハ44系は3等車の座席の向きが固定されていたため、各終点到着した後に必ず編成ごと方向転換を行っていたのも特徴です。登場翌年の1959昭和34年には食堂車がオシ17へ変更されましたが、1960昭和35年には日本初のディーゼル特急、キハ81系にその任を明け渡し、スハ44系客車による「はつかり」はわずか2年間のみ活躍が見られました。							
商品概要	マイクロエース客車シリーズの更なる充実 往年の客車特急「はつかり」を製品化 荷物車、2等車、普通車から成る旧型客車の編成をお楽しみいただけます スハフ43のテールライト点灯 スハフ43に印刷済テールマーク装着(非点灯)							
青15号のボディ色に2本のクリーム1号の帯								
								
パラエティに富んだ客車構成 サボ、号車札印刷済								
A5252 編成図	スハニ357	スハ4432	スハ4431	スハ4426	オシ1711	ナロ1026	ナロ1031	スハフ431
ライト								
走行には別途機関車が必要です 同時発売のA6007 C61-20 東北型重装備 改良品(仙台 青森間牽引) A9616 C60-7 東北型 改良品(盛岡 青森間前補機)が好適です								
オプション	幅狭室内灯 :G0005/G0006/G0007/G0008 幅広室内灯 :G0001/G0002/G0003/G0004 (ナロ10のみ) マイクロカプラーには対応していません							
付属品	行先ステッカー							